

12.73.9/24

慰安婦問題、補償あり得る

赤松文相
表 明

赤松文相は二十四日、閣議後の会見で戦後補償問題に触れ、従軍慰安婦問題については今後、新たな補償対象に成り得る考えを示した。同相は戦後処理の「国家間の補償は解決済み」とした上で、慰安婦問題はその後、新しく出てきた「問題の一つと指摘。」「わかっていなかったことは改めて話し合うこと

はあり得る」とし「補償はあり得ないことではないと述べた。同相はまた、先の戦争の侵略

行為や植民地支配に「深い反省とおわび」を表明した二十三日の細川首相の所信表明演説につ

いても「侵略戦争から侵略行為になったことで」トーンが落ちたとは思われないし、侵略行為があったという方がずっと正確になった。違和感なく共感出来る内容」とした。